

学校教育目標

健康なこども 心の豊かなこども 考えるこども

研究主題 「伝え合う力を高める工夫 —ICT 機器の活用を通して—」

【児童の実態】

- ICT 機器への関心が高い。
- 自分の考えを「書く」能力が高い。
- ▲自信がもてず、自分の考えが言えない児童が多い。
- ▲自分の考えを適切に表現する力に課題がある。

教師の
願い

低学年	・自分の考えをもたせたい ・相手の考えを聞く力を付けさせたい	・自信をもって自分の考えを発言させたい
中学年	・主体的に対話し、学び合う力を付けさせたい ・自信をもって友達と意見を伝え合う力を育てたい	
高学年	・友達の意見を聞き、自分の学習に取り入れさせたい ・互いの意見を認め合わせたい ・自分の考えをもち、相手に伝わる伝え方ができるようにさせたい	

【研究仮説】

- 1 各教科等において自分の考えをもち、伝え合う活動を積み重ねれば、自分の考えを伝える能力や態度が育つであろう。
- 2 発達段階に応じて効果的な ICT 機器の活用を取り入れれば、思考を整理し、表現する力が高まるであろう。

めざす 児童像

1年	自分の考えをもち、相手に伝えたり聞いたりすることができる子	2年	自分の考えを分かりやすく伝えたり聞いたりすることができる子
3年	自分の考えを分かりやすく伝え、共通点や相違点を見付けることができる子	4年	互いの考えを伝え合い、具体的に共通点や相違点を見付けることができる子
5年	互いの考えを伝え合い、認め合うことができる子	6年	互いの考えを整理・検討し、自分の考えを振り返ることができる子

研究主題にせまるための手だて

- ICT 機器の効果的な活用(スクールタクトなどまなびポケット 諸機能、classroom・ドキュメント・ムーブノート・ジャムボードなど Google 諸機能 等)
- 主体的・対話的で深い学びの実現(ペア・トリオ・グループ・全体での話し合い、個の時間の十分な確保 語彙力の習得など)



低学年 STEP 1	中学年 STEP 2	高学年 STEP 3
・タッチパネルに手書きで文字を入力することができる。	・ローマ字表を使いながらキーボードで文字入力ができる。	・キーボードで文字入力ができる。
・学習支援アプリケーションを指示に基づいて使用することができる。	・学習支援アプリケーションを適切に使用することができる。	・学習支援アプリケーションを目的に応じて活用することができる。
・情報を検索する方法を知り、実施することができる。	・情報を収集する基本的な方法を知り、実施できる。	・目的に応じて、情報を適切に収集し、検証しながら活用することができる。
・絵や図、簡単な表を用いて情報を整理することができる。	・表やグラフなどを用いて情報を整理することができる。	・目的に応じて、表やグラフを用いて情報を整理することができる。
・自分の意見を表現することができる。	・相手のことを考えて自分の意見を表現することができる。	・目的に応じて自分の意見を表現することができる。
・1～2点の情報から、その大体を捉えることができる。	・2～3点の情報から、傾向や変化を捉えることができる。	・複数の情報から、傾向や変化を捉えることができる。
・友達の意見や作品などに「いいね」を送ることができる。	・互いの意見や作品などに「いいね」を送ったり、コメントを送ったりすることができる。	・友達の意見をよりよくするための提案をコメントで送ることができる。
・情報活用を振り返り、タブレットを活用することのよさを確かめられる。	・情報活用を振り返り、改善点を見出すことができる。	・情報活用を振り返り、効果を見出すことができる。